

令和6年度福祉施設給食担当職員研修〔第1回〕開催要項

1 目的

社会福祉施設における給食実施に必要な専門知識等について学び、給食担当者の資質の向上を図ることを目的に開催します。

摂食嚥下障害をお持ちの方々に安全に美味しく食事をしていただくことは、その方の身体面・栄養面だけでなく、生き生きとした生活を送るための源といわれています。

本研修では嚥下食調理研究者の講師二人から、知識や最新情報について学びます。

2 実施主体

山口県

3 実施機関

社会福祉法人 山口県社会福祉協議会

4 受講対象者

県内社会福祉施設に所属する管理者、管理栄養士・栄養士及び調理従事者

5 定員

100人

6 日程、演題及び講師

開催日	時間	演題・講師	
6 月 14 日 (金)	9:30～9:55	受付	
	9:55～10:00	開会	開講・オリエンテーション
	10:00～16:00	講義・演習	【講義・演習】 「嚥下食調理のポイント：講義と演習を通じて理解する」 講師 一般社団法人 食とコミュニケーション研究所 顧問 <small>かなや</small> 金谷 <small>せつこ</small> 節子 氏 顧問 <small>むたぞの</small> 牟田園 <small>まさこ</small> 満佐子 氏 (昼食休憩は12:00～13:00を予定)
	16:00～16:10	閉会	閉講（アンケート記入）

7 会場

山口県セミナーパーク 社会福祉研修棟 リハビリテーション実習室

8 受講料

1人 500円

※受付の際に徴収いたします。

9 申込手続

(1) 申込方法

「山口県社会福祉協議会 福祉研修センター」のホームページ (<https://yg-fkc.com>) からマイページにログインし、該当研修の申込フォームからお申込みください。

※事前に事業所単位での登録が必要です。(既に登録済みの場合は不要です。)

※申込状況は、マイページ上で確認できます。

(2) 申込受付期間

令和6年5月10日(金)から令和6年5月31日(金)まで

※上記期間以外の申込は受け付けません。

(3) 受講決定

受講の可否は、申込受付期間終了後、速やかに事業所登録されたメールアドレスに通知します。

定員超過等でお断りする場合も同様です。

10 食事

昼食は、各自で準備するか併設の食堂を利用してください。

11 個人情報の取扱い

申込フォームに記載された個人情報は、研修の運営管理のみに使用します。

12 その他

(1) 自然災害等のやむを得ない事由により研修を開催できない場合は、前日の午後3時までにHP (<https://yg-fkc.com>) に記載しますので、前日に必ず確認してください。

(2) 欠席される場合は、研修前日までに必ず連絡してください。

(3) 研修当日に、発熱や体調が悪い場合は、研修への参加を控えてください。

(4) 遅刻する場合は、速やかに連絡してください。

13 申込先・問合せ先

社会福祉法人山口県社会福祉協議会 福祉研修部(福祉研修センター)

担当：田村

〒754-0893 山口市秋穂二島1062(山口県セミナーパーク内)

TEL: 083-987-0123 FAX: 083-987-0124



金谷 節子 (かなや せつこ) 氏

1972年 聖隷三方原病院栄養科
1979年 聖隷三方原病院栄養科長
2004年 聖隷佐倉市民病院栄養科長
2005年 常葉大学 健康プロデュース学部健康栄養学科 准教授
2006年 財)日本オリンピック委員会強化スタッフ (医・科学スタッフ) 全日本女子バレーボールチーム栄養サポート
2010年 常葉大学健康プロデュース学部健康栄養学科 教授
2013年 金谷栄養研究所 所長
2020年 一般社団法人 食とコミュニケーション研究所 顧問

専門分野は臨床栄養学。研究テーマは、高齢者栄養、抗酸化ストレス臨床試験、緑茶研究、嚥下食ピラミッド、栄養と医療経済研究、スポーツ栄養研究、アンチオキシダントクッキング (真空調理法)。食事を通じた疾病治療に力を注ぎ、臨床栄養学の発展に貢献した。学術活動は、日本病態栄養学会常任理事、日本抗加齢医学会評議員、日本摂食嚥下リハビリテーション学会評議員、日本臨床栄養学会評議員などを歴任し学術の発展に寄与した。

著書：「嚥下食ピラミッドによる別市販食品 250」, 「生活づくりの食事ケア」, 嚥下食ピラミッドによる嚥下食レシピ 125」, 「キーワードでわかる臨床栄養」, 「ベッドサイドから在宅で使える嚥下食のすべて」, 「嚥下障害食の作り方」, 「病院食事革命」など多数。

牟田園 満佐子 (むたどの まさこ) 氏

1976年 北九州市立学校で栄養教諭として40年勤める。
1997年 障害児との出会いから、師と仰ぐ金谷節子先生に導かれ、現在に至る。
2002年 北九州市の特別支援学校で「別調理による段階食 (嚥下食)」に携わる。
2019年 20年にわたる知識と経験から、嚥下食工房七日屋所長を務める。
2024年 嚥下食工房七日屋を退任する。
2024年 Masako Office 代表
2024年 一般社団法人 食とコミュニケーション研究所 顧問

2020、2022年度嚥下食メニューコンテストで2度の最優秀グランプリを受賞。

著書：「噛み噛み食育のすすめ」

15 アクセス

＜山口県セミナーパーク＞

所在地：〒754-0893 山口市秋穂二島 1062



- 山陽自動車道山口南 I.C. から約 4 k m
- J R 新山口駅から約 9 k m
- J R 四辻駅から約 3 k m
- 山口宇部空港から約 3 5 k m